

令和6年 水稻病害虫発生状況（6月）

1 葉いもち

補植用置苗の残存ほ場割合は、6月上旬、中下旬ともに全域で平年並～やや低くなり、置苗での葉いもちの発生は確認されませんでした（図1、表1）。

置苗は、葉いもちの発生源になるため、ほ場に残存している場合は、速やかに処分してください。

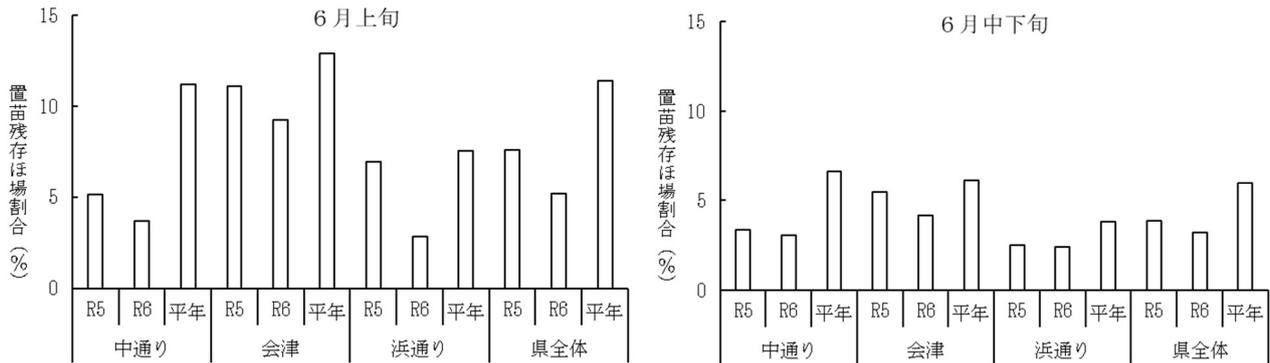


図1 補植用置苗のほ場への残存状況（6月）

注) 調査ほ場数： 中通り： 6月上旬：273、 6月中下旬：230
 会津： 6月上旬：183、 6月中下旬：168
 浜通り： 6月上旬：141、 6月中下旬：164

表1 補植用置苗での葉いもち初発確認日（令和6年6月19日現在）

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
中通り	—	6/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—
会津	6/20	6/8	—	6/21	6/11	—	—	6/17	7/7	—	—
浜通り	—	—	—	—	—	—	6/12	6/15	—	—	—

注) —は発病未確認を表す。

2 イネミズゾウムシ

発生ほ場割合は、6月上旬の調査では全域で高く、6月中下旬の調査では中通り、浜通りで高く、会津で平年並となりました（図2）。

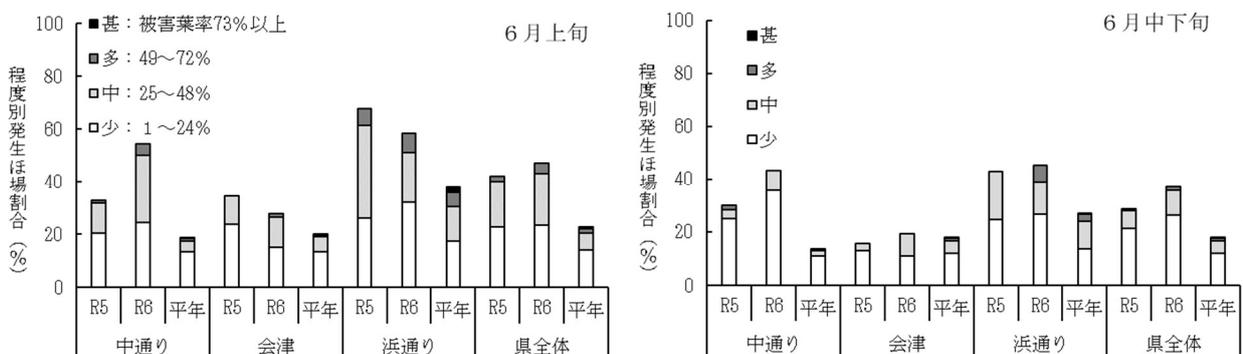


図2 イネミズゾウムシの発生状況（6月）

3 イネドロオイムシ

発生ほ場割合は、6月上旬、中下旬ともに全域で平年並～低くなりました（図3）。

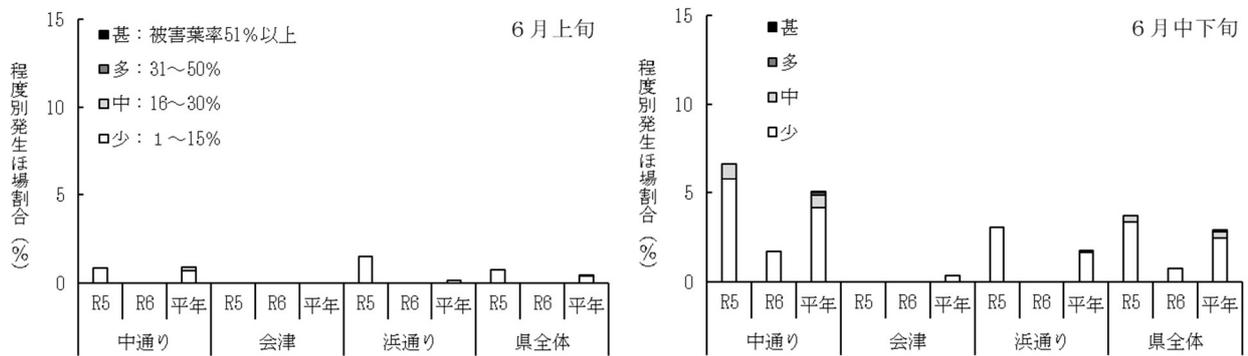


図3 イネドロオイムシの発生状況（6月）

4 イネヒメハモグリバエ

発生ほ場割合は、中通り、浜通りで低く、会津で平年並となりました（図4）。

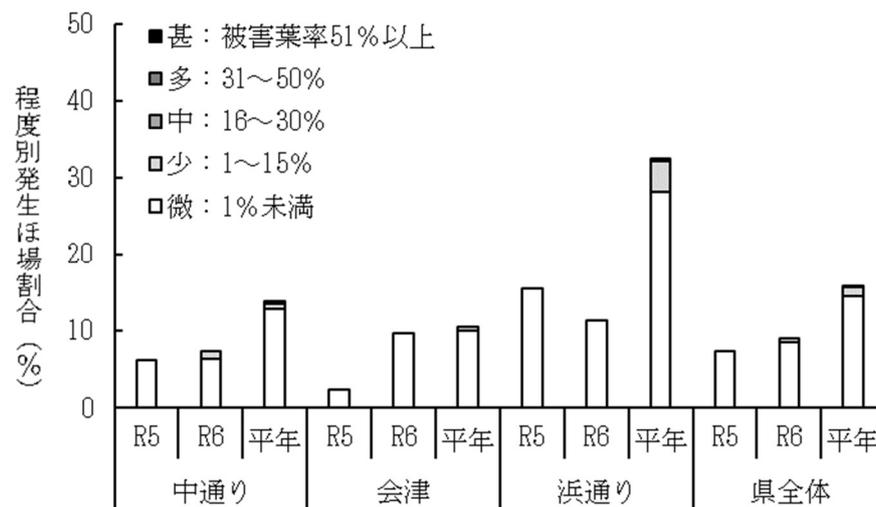


図4 イネヒメハモグリバエの発生状況（6月上旬）

5 斑点米カメムシ類

畦畔すくい取り調査による発生地点割合は、中通りで平年並、会津、浜通りで平年より高く、各地域とも発生程度の高いほ場の割合が平年より高くなりました（図5）。

発生種別では、全域でアカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリカメムシが多く捕獲されました（図6）。

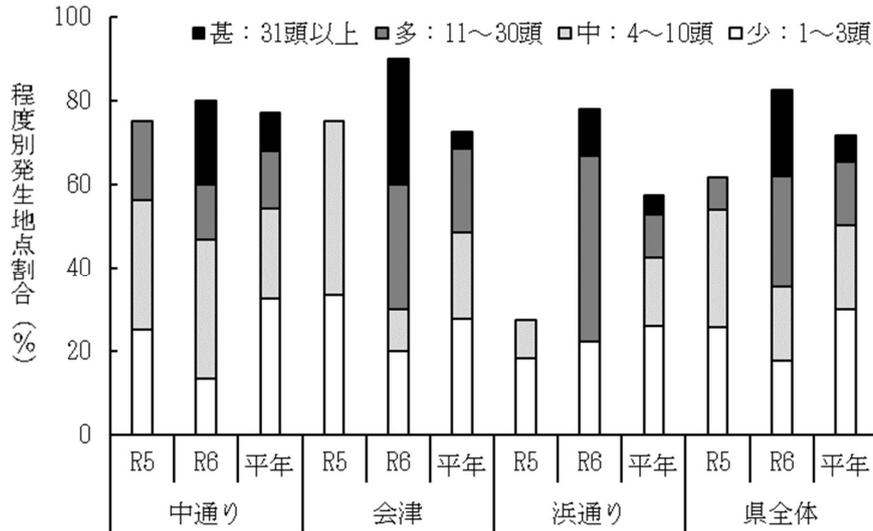


図5 畦畔すくい取り調査による斑点米カメムシ類成虫の程度別発生状況（6月中下旬）

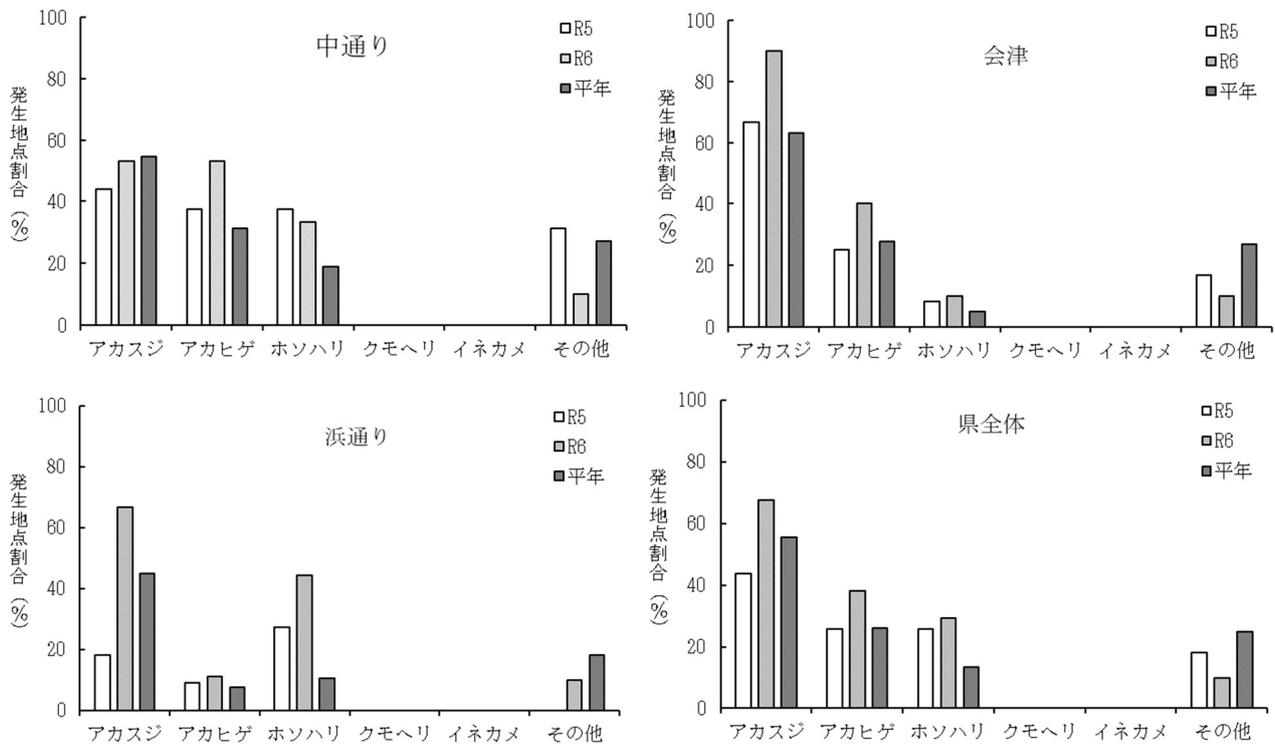


図6 畦畔すくい取り調査による斑点米カメムシ類の種別発生状況（6月中下旬）